「学び続ける力を育てる図書館教育」

~ 「すき」をはぐくむ豊かな読書活動と探究型の授業づくりを通して~

広島市立皆実小学校

【所 在 地】 広島市南区皆実町一丁目15-32

【児童数】 743人 【教職員数】 66人

【蔵書数】 13,149冊

令和3年10月27日現在

1 取組内容

- (1) 読書活動の充実
 - ① 朝読書の実施
 - ・ 毎朝 10 分間の自由読書



- ② 読書記録カードの活用
 - ・ 学年目標を設定して取り組む くどの本読もうかな>
 - 1・3・5 学年 20 冊
 - 2・4・6 学年 40 冊

<学年目標>

1・2 学年 冊数

3~6学年 ページ数



- ③ 読み聞かせの実施
 - ・ 保護者ボランティア (みなみかぜ) による読み聞かせ
 - →月1回の朝読書、昼休憩のお話 会など
 - ・ 担任による読み聞かせ

④ 読書週間の取組

- ・ 年 2 回(4 月、1 0 月)読書週間を設け、読み聞かせやアニマシオン、ストーリーテリング、ブックトークなどを実施
- ・ 図書室だよりの発行
- ・ 教職員を対象にしたミニ研修の実施



⑤ 推薦図書を選定

・ 2 学級に 1 セット、広島市こども図書館が 選定した良書「どの本読もうかな」を紹介



- ⑥ 国語科授業における読書活動
 - 学校図書館活用年間指導計画を作成し、計画的な図書活用の実施
 - ・ 教科書に掲載されている図書の配備

⑦ その他

- ・ 読書感想文コンクール応募
- ・ 各委員会による図書を活用した活動

(2) 探究型授業づくりの充実

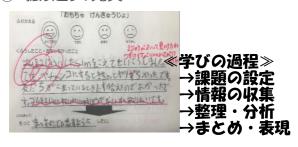
① 「みなみの学び指導体系表」を活用した授業づくりの実施 ※参考資料を参照

	(100 pm)	情報活用能力(重点目標)	国客室利用	回客资料	読み取る力(国部科)	考える程点 (オープード)
1	実館利用の基本的な知 識・技能・態度を身に作	工図書資料の選定 ・総名や最低などに省当して必要な図書を見付 ける。 ②情報の選択 ・加りたい事柄を資料の中から選ぶ。	・図書室の5ま り- 本の故び方 (類名・作者等) を知る。		・比べながら(兵通直・順連点)競 む。 ・時間や事情の順序に先を付けて 誘む。 ・文章の中の重要な語や文を考え て表示。	0.0000000
3		いるいろな本や資料から、必要な情報を見付ける。	配款(ラベル- 案内図等)を知	と ・記録や報告な	・全体と中心を関係付けて終む。 ・考えとそれを支える場合や準例と の関係がけて読む。 ・目的を意識して、中心となる話や 文を見付け最初しなから読む。	・わける ・くらべる ・2つ以上の資 料から
5 . 6	を適切に利用する。ま た、課題解決に向けて、		・図客室の5ま り、本の配架(日 本十選分類法) を理解し活用する。	·統計資料や創	・房間と結束など情報と信報との 関係を考えながら終む、 ・事実と思想、意見などとの関係を 文章を体の構成を投えて着おを 物理しながら挑む。 ・目的に応じて、文章と記者などを 様が付けるなどして必要な情報を 見付ける。	+つなげる ・広げる ・複数の資料か ら

② 話し合い活動の充実



③ 振り返りの充実



(3) 図書館の環境整備

・ 学校図書館のリニューアルを実施 ※参考資料を参照





① 読書活動を支える環境整備

- ・ 蔵書のバーコード管理
- 本や資料の紹介コーナーの設置

② 学習活動を支える環境整備

・ 学習で使用した資料や新聞記事、学習 の成果物を蓄積する「情報ボックスコーナ -」の設置



- 調べ方ガイドガイドの掲示
- ・ 調べ学習用の図書の充実
- ・ 公立図書館との連携

③ みんなで作る図書館

- ・ ボランティアによる館内の装飾や本の整理
- 委員会による図書館キャラクター募集



2 成果

- ① 令和3年度全国学力・学習状況調査の児 童質問紙調査において
 - ・「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日30分以上読書をする (教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」と 回答した児童の割合が、平成30年度調査 (本活動前)と比較すると、3.4ポイント上 回り、全国を13.9ポイント上回った。
 - ・「新聞を読んでいる」と回答した児童の割合が、平成30年度調査(本活動前)と比較すると、10.4ポイント上回り、全国を22.7ポイント上回った。